

	英語版 English version	ページ数	新規 再履修			関連性が 高いと思 われる単 元	
			必修	必修	任意		
責任ある研究行為：基礎編(RCR生命医科学系)							
責任ある研究者の行為について/Responsible Conduct of Research	○	19	○				研究倫理の基本事項
研究における不正行為/Research Misconduct	○	10	○				研究倫理の基本事項
データの扱い/Data Handling	○	24	○				研究倫理の基本事項
共同研究のルール/Rules for Collaborative Research	○	17	○				研究倫理の基本事項
利益相反/Conflicts of Interest	○	21	○				研究倫理の基本事項
オーサーシップ/Authorship	○	10	○				研究倫理の基本事項
盗用と見なされる行為/What is plagiarism?	○	12	○				研究倫理の基本事項
社会への情報発信/Communicating Information to the Public	○	12				○	とくに教員にとって有用
ピア・レビュー/Peer Review	○	16	○				研究倫理の基本事項
メンタリング/Mentoring	○	10	○				研究倫理の基本事項
公的研究費の取扱い/Managing Public Research Funds	○	14	○				研究倫理の基本事項
責任ある研究行為ダイジェスト/< Digest Version > Responsible Conduct of Research	○	69		○			責任ある研究行為：基礎編(PCR)の主要な項目をカバー（含まれない項目：利益相反、ピアレビュー、メンタリング、社会への情報発信）
人を対象とした研究：基礎編 (HSR)							
生命倫理学の歴史と原則、そしてルール作りへ/The History and Principles of Bioethics, and the Development of Its Rules	○	14	○				医学系研究機関の職員・学生として知っておくべき基本事項・原則。
研究倫理審査委員会による審査/Review by an Institutional Review Board (IRB)	○	10	○				医学系研究機関の職員・学生として知っておくべき基本事項・原則。
研究における個人に関する情報の取り扱い/Handling Personal Information in Research	○	14	○				医学系研究機関の職員・学生として知っておくべき基本事項・原則。
人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究/Genomic and Genetic Analysis Studies in Human Populations	○	10			○		人を対象としたゲノム・遺伝子解析研究をおこなう研究者にとって知っておくべき内容
研究で生じる集団の被害/Group Harm Arising from Research	○	5					
研究におけるインフォームド・コンセント/Informed Consent in Research	○	14	○				医学系研究機関の職員・学生として知っておくべき基本事項・原則。
特別な配慮を要する研究対象者/Research Subjects Who Merit Special Considerations	○	5	○				医学系研究機関の職員・学生として知っておくべき基本事項・原則。
カルテ等の診療記録を用いた研究/Records-Based Research	○	8					
生命医科学研究者のための社会科学・行動科学/Social and Behavioral Research for Biomedical Researchers	○	7					
国際研究/International Studies	○	12					
多能性幹細胞研究の倫理 I /The Ethics of Pluripotent Stem Cell Research I	○	9			○		ヒト幹細胞を用いた再生医療研究に携わる研究者が知っておくべき倫理の基本事項
多能性幹細胞研究の倫理 II /The Ethics of Pluripotent Stem Cell Research II	○	11			○		ヒト幹細胞を用いた再生医療研究に携わる研究者が知っておくべき倫理の基本事項
研究倫理審査委員会の委員に就任する際に知っておくべきこと/What New IRB Members Need to Know	○	21				○	該当者にとって有用
人を対象とする医学系研究/Medical and Health Research Involving Human Subjects	○	31					人を対象とした研究の基本単位（歴史と原則、研究倫理審査委員会の審査、インフォームドコンセント、個人情報、特別な配慮を要する研究対象者）をまとめた内容
人を対象とした研究ダイジェスト/Digest: Human Subjects Research	○	32		○			人を対象とした研究の基本単位（歴史と原則、研究倫理審査委員会の審査、インフォームドコンセント、個人情報、特別な配慮を要する研究対象者）についてのダイジェスト
研究の安全性 (BIO)							
実験安全の基本/The Fundamentals of Laboratory Safety	○	15				○	化学物質取扱講座と重複する。英語版は、海外からの研究者・留学生にとって有用
化学物質を使った実験/Experiments That Use Chemical Substances	○	22				○	化学物質取扱講座と重複する。英語版は、海外からの研究者・留学生にとって有用
放射性物質の取り扱い/Handling Radioactive Material	○	16				○	放射性同位元素の取扱者が知っておくべき内容 英語版は、海外からの研究者・留学生にとって有用
遺伝子組換え/Recombinant DNA	○	12				○	教育訓練と重複する。基本事項がまとまっている。英語版は、海外からの研究者・留学生にとって有用
バイオセーフティ コース概略		16				○	
研究室関連感染とバイオハザードのリスク評価		11					患者検体、病原体を取り扱う場合
米国労働安全衛生局による血液由来病原体対策の現状		38					患者検体、病原体を取り扱う場合

リスク管理－緊急時および飛散時の対応/Risk Management - Emergency Spill and Response	○	16				患者検体、病原体を取り扱う場合
バイオサンプルの発送と受取/Sending and Receiving Biosamples	○	13			○	生物試料を海外発送する人にとって必要な基本情報
バイオテロリズム/Bioterrorism	○	16				
バイオセキュリティ/Biosecurity	○	14				
実験動物の取り扱い (ACU)						
単元1：動物実験の基礎知識/Care and Use of Laboratory Animals Module 1 Basic Knowledge of Animal Experiments	○	24			○	動物実験に携わる研究者にとって知っておくべき内容
単元2：動物実験の実施にあたり配慮すべきこと/Care and Use of Laboratory Animals Module 2 What You Should Consider When Conducting Animal Experiments	○	41			○	動物実験に携わる研究者にとって知っておくべき内容
中等教育教材 (RSE)						
中等教育における研究倫理：基礎編/Ethics for Student Research	○	9			○	中高生対象：責任ある研究行為。教材として有用。英語版あり
中等教育における研究倫理：実践編		21			○	中高生対象：教材として有用。日本語のみ
学部導入教材 (ICF)						
大学初年次向け研究倫理教育/First-Year Experience: Research Integrity and Ethics	○	9			○	学部生対象：責任ある研究行為。教材として有用。英語版あり
データの再現性の確保へ向けた行動 (AMED支援「国際誌プロジェクト」提供)						
データシェアリング		6				
研究のモニタリング		8				
データの管理		12				
データのモニタリング		4				
画像操作の制限/Restrictions on Image Manipulation	○	13			○	画像操作についての基本事項。画像を取り扱う人は知っておくべき内容
研究の再現性の適正な表現と信頼性/Reproducibility and Research Integrity	○	18		○		再現性と信頼性についての概論 研究者として知っておくべき内容
国際誌が求める統計：チェックリストの活用/Statistics Required by International Journals: Use of Their Checklists	○	6			○	国際誌 (Nature, New England Journal of Medicine, Science, EMBO Journal, JAMA) で要求される統計解析のチェックリスト
正しいデータの記述の仕方/Proper Data Description	○	11			○	統計についての基本事項 [ビデオ教材] EZRのインストール データセットの作り方 平均値と標準偏差 中央値と四分位範囲 標準誤差と信頼区間
記述統計量とグラフの描き方/Descriptive Statistics and Graphing	○	6			○	統計についての基本事項 [ビデオ教材] 棒グラフ 箱ひげ図 ヒストグラム 標本 (患者) 背景表
検定とP値：統計的エビデンスとは/Testing and P-Values: Statistical Evidence	○	10			○	統計についての基本事項 [ビデオ教材] 仮説検定とP値
多重性の問題：研究計画の重要性		7			○	統計の落とし穴、Pハッキングなど [ビデオ教材] 多重検定問題
症例数の設計：信頼できるエビデンスを得るために症例数は計画時に必ず決めておく		7			○	症例数以外にも適用できる [ビデオ教材] 2教材
検定の選び方：検定は結論を変え得る！ 不適切な検定を故意に選ぶのは不正行為		8			○	統計についての基本事項 [ビデオ教材] t検定 t検定の仮定 データ変換とt検定 マンホイットニーのU検定 対応のあるt検定 対応のあるt検定の仮定 ウィルコクソン符号付順位検定 分散分析 (ANOVA) クラスカルワリス検定 相関の検定
多変量解析		5			○	学習者にとって有用なリソース
線形回帰モデル		5			○	学習者にとって有用なリソース [ビデオ教材] 4教材
ロジスティック回帰モデル		7			○	学習者にとって有用なリソース [ビデオ教材] 6教材
生存時間解析		6			○	学習者にとって有用なリソース [ビデオ教材] Kaplan-Meier曲線
比例ハザード回帰モデル		6			○	学習者にとって有用なリソース [ビデオ教材] 3教材
無作為化		7			○	学習者にとって有用なリソース
データの客観性の確保へ向けた行動 (AMED支援「国際誌プロジェクト」提供)						
利益相反の開示と管理		7				

研究対象の保護へ向けた行動（AMED支援「国際誌プロジェクト」提供）							
	研究対象者の保護		6				
	動物を用いた研究論文：国際学術誌の投稿規定とARRIVEガイドライン		12			○	動物実験に関する国際学術誌の投稿規定とガイドライン
その他（AMED支援「国際誌プロジェクト」提供）							
	デュアルユース：研究がもたらす影響の多様性		7				デュアルユース研究とは、その成果が民生目的と軍事目的のどちらにも使える研究のこと
	著者の資格・権利・責任と盗用：医学・生命科学系国際学術誌の投稿規定		19			○	「責任ある研究行為：基礎編」を国際誌の投稿規定の視点から解説
	著作権と出版前の発表の制限		16			○	著作権についての各国際誌の間での違い、出版前の発表制限について
安全保障貿易管理（輸出管理）教材（SEC）							
	大学等における安全保障輸出管理／Security Export Control by Universities and Research Institutions		18				